

2023年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科											
メディア研究 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	2
担当教員	馬場 定雄			実務経験	有	職種	映像演出				
担当教員紹介											
映像クリエイター。 テレビ朝日映像にて広報・制作として勤務。現場でのノウハウや映像知識を元に、メディア研究授業を主に担当。											
授業概要											
この科目を受講する学生はこれからの新しいメディアに対応させる為、色々なジャンルの作品を視聴し研究する。また実践教育にあたり最先端の現場で活躍している特別ゲストの方々を迎え現場での経験談話を通じて今後の自分の作品を制作する為の基礎力を身に着けるのが目的である。											
到達目標											
この科目では将来、アニメーション・キャラクターデザイン・マンガに進む学生が進もうとしている業界がどのような仕事として成り立っているのかを理解する。また特別講義を通して各ジャンルの業界のゲストの講演を通じてこれから社会で活動するために必要な基礎能力を具体的にイメージすること、社会の組織で協働することの重要性を理解することなどが出来るようになることを目標とする。											
授業方法											
この授業では、映像作品や出版物を使用し映画などの研究や分析を行ないながら個人の知識力を高めたり、特別講義などの講演を通じ過去から現在までの様々なジャンルヒストリーを学びます。その過程から発想力や行動力を理解しこれからの個々の作品作りができるようになることを目指す。											
成績評価方法											
試験・課題 60% 試験と課題を総合的に評価 レポート 30% 授業内容の理解度を確認するために実施 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
PowerPointでのレジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	シラバスの説明、カメラアングル、カメラワークの基礎を学ぶ										
第2回	イラストレータの特別講義を行いキャラクターの描き方を学ぶ①										
第3回	アニメーションの歴史を学ぶ										
第4回	テレビ、映画、アニメの制作手順の違い、色々な絵コンテ、企画書の違いを学ぶ										
第5回	実写映画を鑑賞し作品の作り方を学ぶ										

2023年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科	
メディア研究1	
第6回	アニメーション映画を鑑賞し作品の作り方や音について学ぶ①
第7回	アニメーション映画を鑑賞し作品の作り方や音について学ぶ②
第8回	漫画家の特別授業を行い漫画の描き方を学ぶ
第9回	アニメーション制作会社を招いて制作現場の作品の制作方法を学ぶ
第10回	映画監督スピルバーグ作品について学ぶ①
第11回	映画監督スピルバーグ作品について学ぶ②
第12回	映像業界、出版業界の著作権につついて学ぶ①
第13回	映像業界、出版業界の著作権につついて学ぶ②
第14回	映像業界、出版業界の著作権につついて学ぶ③
第15回	海外アニメーション作品の制作方法について学ぶ